

## Press Release

2023.12.8

### 「悪から善をつくらなければならない(ほぞ)」

松尾勘太、若林菜穂

2024年1月13日(土) - 2月4日(日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

タリオンギャラリーでは、松尾勘太、若林菜穂による展覧会「悪から善をつくらなければならない(ほぞ)」を開催いたします。是非ともご覧下さいませよう、よろしくお申し込み申し上げます。

松尾勘太は油彩を用いて、舞台設定のように仮構された空間の拡がり、そこに発生する様々な異形、量感を伴いながら鈍く光る体躯や顔容を描きます。視覚的欲望が投影され、筆触の線描的な彫塑と触覚的な流動によってレンダリングされたその絵画は、見る者の網膜に瞬間的に現れずに、遅延して感覚や記憶に現れる持続的なスクリーンのように作用します。若林菜穂は、撮りためた写真やカラーペーパーなどから作るコラージュを、一枚の絵画の系へと自らの眼や手を経由して絵具に置き換えることで制作を行っています。印刷物のざらつきやディスプレイ上の明度、そして作家の記憶の断片を混ぜ合わせつつ描かれる作品は、現実とは切り離された所在なさとともに、それを見る者の記憶の在りかに直接触れるかのようなシンクロニックなモチーフに満ちています。

本展覧会名は、「ストーカー」(アンドレイ・タルコフスキー監督、1979年)の脚本もつとめたアルカジー & ボリス・ストルガツキーによる原作の冒頭に引用された言葉「君は悪から善をつくらなければならない。なぜならこの世には悪しかないのだから (You have to make the good out of the bad because that is all you have got to make it out of.)」に由来し、臍(へそ)や柄接ぎ(ほぞつぎ)を指す「ほぞ」が付け加えられています。このフィクションにおいて異星人が立ち去ったあとの奇妙な現象がつづく地球上のエリアは、そこに残された有益な何ものか、何でも願いが叶うという球体を求めて、ストーカー(獲物にしよる者)たちが感覚を研ぎ澄ませて飛び込んでいく、人間的な欲望や願望が投影される場所でもありました。

絵画の特権的布置を主題とする本展では、絵画という球面または平面のいずれかではなく、この二つの面の交差する場に意識を差し向けます。球面とはたとえば眼であり、あらゆる描画は画家にとっても鑑賞者にとっても、矩形として規定される以前の、球面に写された何ものかです。また、絵画というフォームをもたらした歴史・社会的慣習や制度の移植に関わるしこりや、モダンアートの内発的発展史観とマーケティングの関係に纏わるわだかまりについて、展覧会を通して思考を及ぼすことも念頭におかれています。どうぞご期待ください。



若林菜穂 | クライムの壺を割る | 2023 | デジタルデータ | サイズ可変

松尾勘太 Kanta Matsuo

1980 佐賀県生まれ  
2010 武蔵野美術大学造形学部油絵学科油絵コース卒業  
2012 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了  
現在、東京を拠点に活動。

主な個展

2021-22 「温泉とホラー」 second 2. (東京)  
2016 「からだ・風景・フルーツ」 武蔵野美術大学 FAL (東京)  
2013 「穴ぐら」 山手 83 (神奈川)  
2012 「記憶の穴場」 平成 23 年度 武蔵野美術大学修了制作展  
武蔵野美術大学美術館 (東京)  
「境界とその周辺 TWS-EMERGING2012」  
トーキョーワンダーサイト本郷 (東京)  
2011 「暗闇の呼吸」 SPACE / ANNEX (東京)

主なグループ展

2023 「思索の現場」 gallery Cajio (東京)  
「口肛具譚」 TALION GALLERY (東京)  
2021 「#1」 second 2. (東京)  
2020 「αM+ vol.1 国立奥多摩美術館 “国立奥多摩湖” ～もちつもたれつ  
奥多摩コイン～」 gallery αM (東京)  
2017 「VOCA 展 2017 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」  
上野の森美術館 (東京)  
「Arts in Bunkacho 芸術発信展」 文化庁 (東京)  
2015 「武蔵野美術大学 × 伊勢丹『U-35 若手クリエイターによるアート・  
デザインの現在』 ISETAN 新宿店本館 7 階 = 催物場 (東京)  
2014 「国立奥多摩美術館 -13 日間のプレミアムな漂流 -」 MOAO (東京)  
「Group Exhibition by コムロタカヒロ+松尾勘太+小畑多丘」  
CLEAR EDITION & GALLERY (東京)  
「シェル美術賞 アーティスト セレクション 2014」  
国立新美術館 (東京)  
2013-17 「助手展 武蔵野美術大学助手研究発表」  
武蔵野美術大学美術館 (東京)  
2013 「トーキョーワンダーウォール公募 2013 入選作品展」  
東京都現代美術館 (東京)  
「Imago Mundi ベネトンコレクション企画展」  
Fondazione Querini Stampalia (イタリア)  
2012 「第 31 回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」  
損保ジャパン東郷青児美術館 (東京)  
2011 「トーキョーワンダーウォール公募 2011 入選作品展」  
東京都現代美術館 (東京)  
「Switchers3x3」 藍画廊 (東京)  
2010 「トーキョーワンダーウォール公募 2010 入選作品展」  
東京都現代美術館 (東京)  
「シェル美術賞展 2010」 代官山ヒルサイドフォーラム (東京)



手の湯 | 2021-2023 | 油彩、キャンバス | 53×65.2cm | 個人蔵



「口肛具譚」 TALION GALLERY での展示風景 | 2023  
撮影：木奥恵三



温泉郷の祭り (温泉とホラー) | 2016-2021 | 油彩、キャンバス  
53×65.2cm



無題 | 2019-2020 | 油彩、キャンバス | 51.5×72.8cm  
国立奥多摩美術館所蔵

若林菜穂 Naho Wakabayashi

1991 東京都生まれ  
2017 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業  
現在、東京を拠点に活動。

#### 主な個展

2023 「sprinkle halo」KATSUYA SUSUKI GALLERY (東京)  
2022 「paradoxical sleep」space25ji (東京)  
2021 「Magic Flight」数寄和 (東京)  
2020 「wink」四谷未確認スタジオ (東京)  
2018 「うつせる窓」小杉画廊 (東京)  
「行く先々」数寄和 (東京)  
2016 「予定にない日」sanka (東京)  
2015 「fix the images」TANNE (東京)  
2014 「メビウスの切れ目」lamp (東京)

#### 主なグループ展

2023 「静かの海」駒込倉庫 (東京)  
「中日韓現代美術展」貴州美術館 (貴州、中国)  
2022 「いつかは世の中の傘」TALION GALLERY (東京)  
2021 「Kinder wonder garden」KATSUYA SUSUKI GALLERY (東京)  
「Born New Art in SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE」  
渋谷スクランブルスクエア プラスアートギャラリー (東京)  
2020 「第三十三回ホルベインスカラシッパ成果展」佐藤美術館 (東京)  
「心覚えをたどる」hatoba cafe/gallery (京都)  
2018 「Slide, Flip, and Turn / スライドフリップ アンドターン -7人の  
アーティストブック展-」武蔵野美術大学美術館図書館 (東京)  
「木曾ペインティングス vol.2」木曾路美術館 (長野)  
「清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ」(愛知)  
2017 「木曾ペインティングス vol.1」本陣 (長野)  
「アタミアートウィーク」青い屋根の平屋 (静岡)  
「五美術大学連合卒業制作展」国立新美術館 (東京)  
「武蔵野美術大学卒業・修了制作展」武蔵野美術大学 (東京)  
2016 「sound of silence」武蔵野美術大学構内 (東京)  
「GAW 展 in 掛川」藤文 (静岡)  
「アタミアートウィーク」(静岡)  
2015 「golde nage」武蔵野美術大学構内 (東京)  
2014 「table cross」ターナーギャラリー (東京)  
「□□□」鎌水美術館 (神奈川)  
2013 「トリアグラム」武蔵野美術大学 (東京)

#### 主な受賞歴

2019 第三十三回ホルベインスカラシッパ 奨学生認定  
2018 清須市第9回はるひ絵画トリエンナーレ 入選  
2016 2016年度武蔵野美術大学卒業制作展 研究室賞



うつしみ | 2023 | キャンバスに油彩 | 65x53cm



光る微 | 2022 | キャンバスに油彩 | 116.7x91cm



「いつかは世の中の傘」 TALION GALLERY での展示風景  
2022 | 撮影：木奥恵三



マジックフライト | 2021 | キャンバスに油彩  
116.7x91.3cm

—  
本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[ 展覧会概要 ]

展覧会名	悪から善をつくらなければならない (ほぞ)
アーティスト	松尾勤太、若林菜穂
会期	2024年1月13日(土) - 2月4日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
企画	上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[ お問い合わせ ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: [info@taliongallery.com](mailto:info@taliongallery.com) Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: [www.taliongallery.com](http://www.taliongallery.com)